

平成31年度認知症フォーラム アンケート調査結果報告書



五所川原市地域包括支援センター

1 アンケート調査の目的と方法等

1) 目的

この報告書は、「平成31年度五所川原市認知症フォーラムアンケート調査」の結果をまとめたものである。

本調査の目的は、五所川原市民の認知症への正しい理解と支援の在り方に関する普及啓発について評価し取り組むべき課題を明確にすることである。

2) アンケート調査方法

実施主体：五所川原市

対象者：平成31年度五所川原市認知症フォーラム来場者（関係者除く）

実施日：令和元年9月15日（日）

方法：配布資料中にアンケート用紙を同封し、退場時回収箱にて回収。

3) アンケートの回収率

来場者数： 667名（内、関係者 121名）

対象者： 546名

回収状況： 回収数 278枚

無効数 2枚

有効回答数 276枚

有効回収率 50.5%

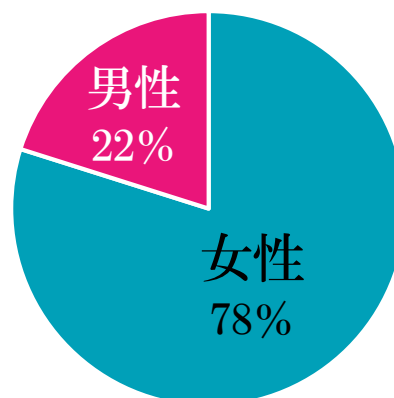
2 回答者の属性（フェイスシート）

1) 来場者の性別

来場者の約8割が女性であった。

来場者の性別

n=276 (人)



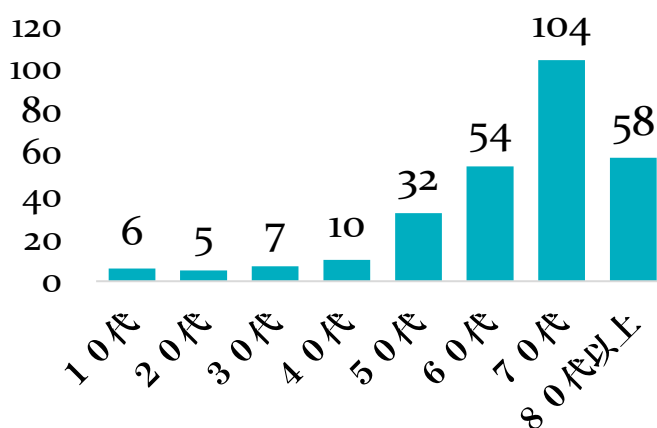
2) 年代

全体的に60歳以上の参加者が多く、70代（103人、37%）で最も多かった。

若い年代や働き盛りの世代の参加は少ない状況であった。

来場者の年代

n=276 (人)

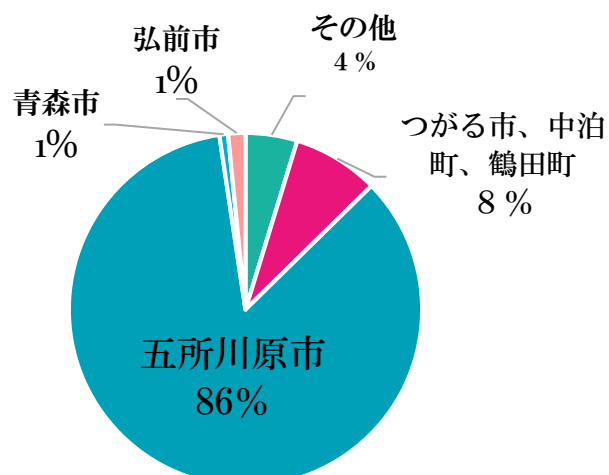


3) 居住地

市内在住の方が8割以上（86%）で最も多かった。

来場者の居住地

n=276 (人)

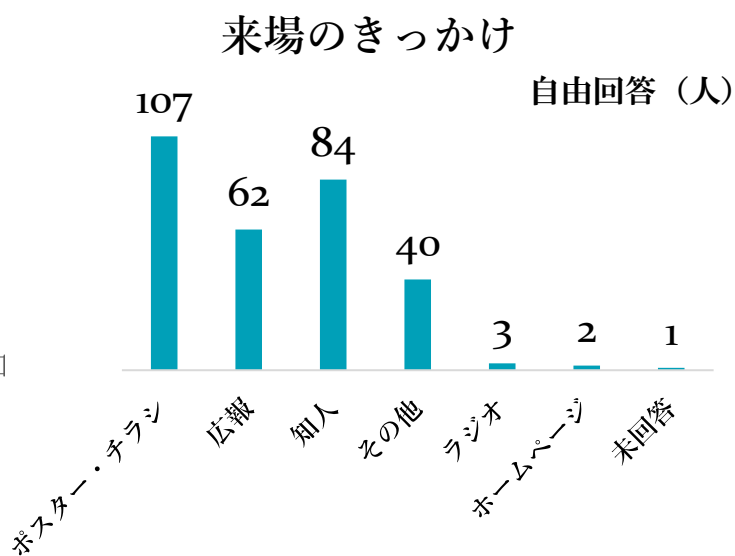


3 設問別調査結果

1) イベントについて

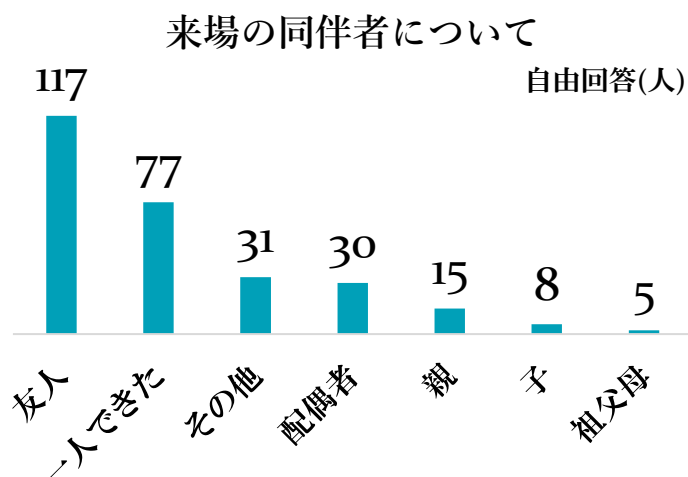
①来場になったきっかけ

全体的にみると、ポスター・チラシ（107名）が最も多く、次いで知人（84名）であった。広報と回答した方も多かった。



②来場の同伴について

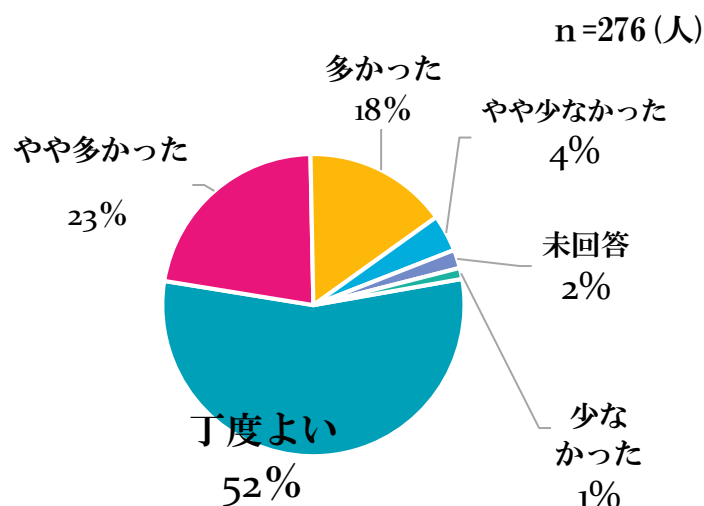
友人（117人）と一緒に来場されている方が多かった。



③イベントのボリュームについて

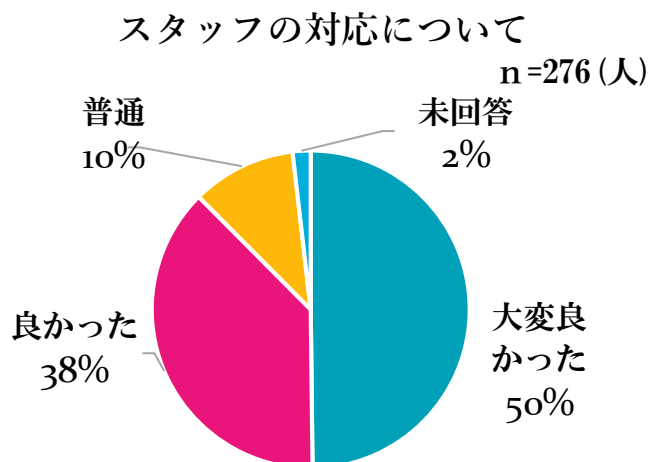
「丁度良い（52%）」が約半数であり、「多かった（18%）」「やや多かった（24%）」と回答した方が42%であり、昨年度と比較し、13%上昇した。

イベントのボリュームについて



④スタッフの対応について

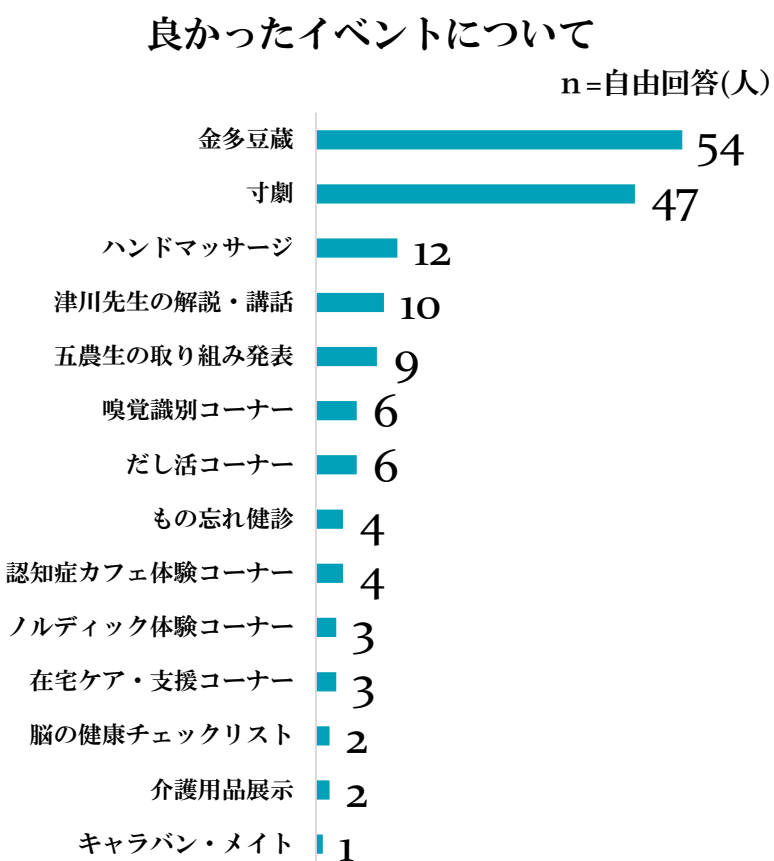
「大変良かった（50%）」と「良かった（38%）」を合わせ88%の方がスタッフの対応が良かったと回答。昨年度に比べ、3%上昇した。



⑤よかったイベントは何ですか

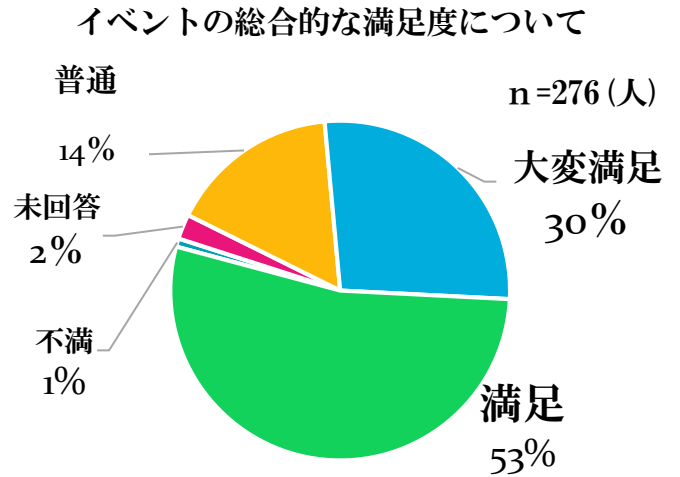
「金多豆蔵（54人）」の回答が最も多く、次いで「寸劇」と回答している方が多かったです。

昨年度のアナケート結果において、医師による講話の希望が多く、津川先生の解説や講話が4位に入り、満足度が高くなったと思われる。



⑥ イベントの総合的な満足度

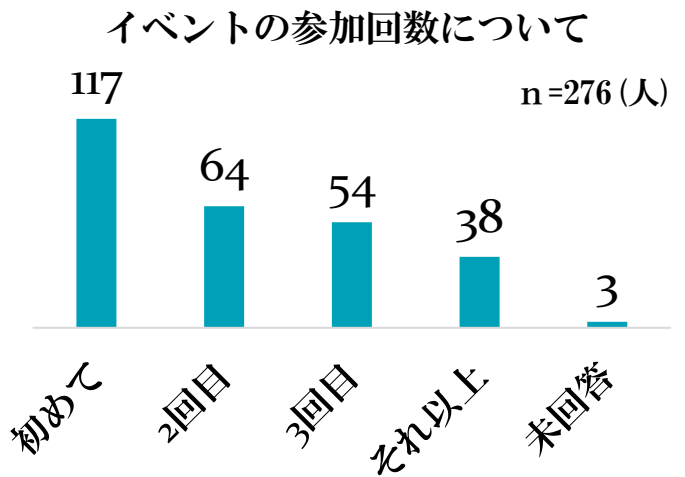
「大変満足（30%）」と「満足（53%）」を合わせて83%の方が満足されていた。



⑦ イベントの参加回数は

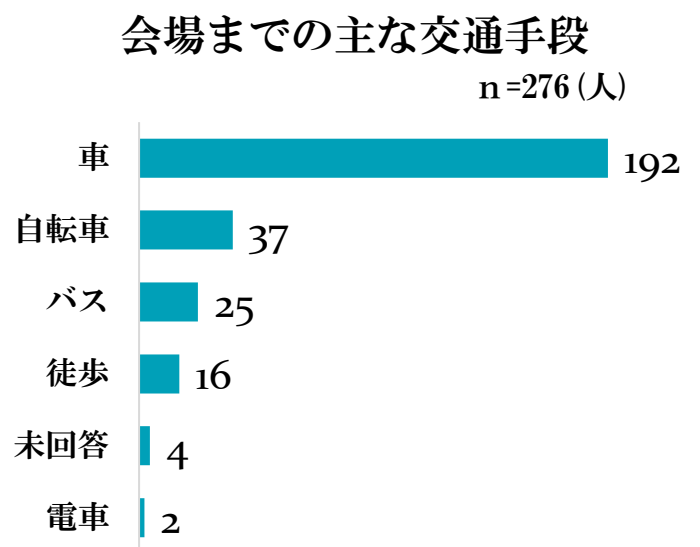
「初めて（117人、42.4%）」が最も多かった。

継続されて参加してる人の割合の合計が56%であり、何度来ても満足していただいていることがわかった。



⑧ 会場までの主な交通手段

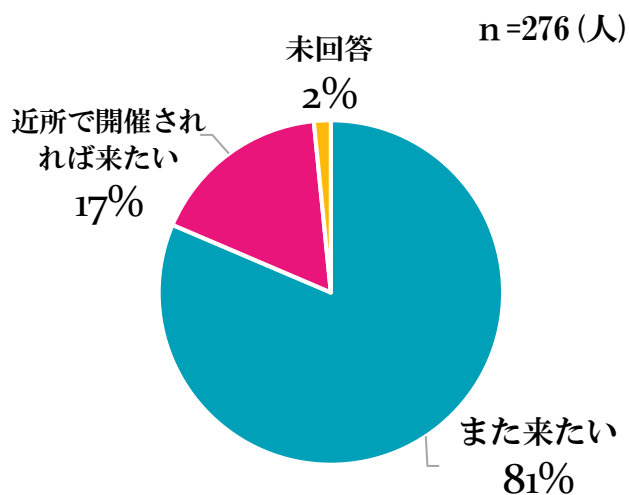
「車（192人、69.5%）」で最も多かった。次いで、「自転車（37人、13.4%）」であった。



⑨来年認知症フォーラムが開催されたら

「また来たい（81%）」、「近所で開催されれば来たい（17%）」を合わせて、98%の方がまた来たいと回答していた。

来年の認知症フォーラムが開催されたら

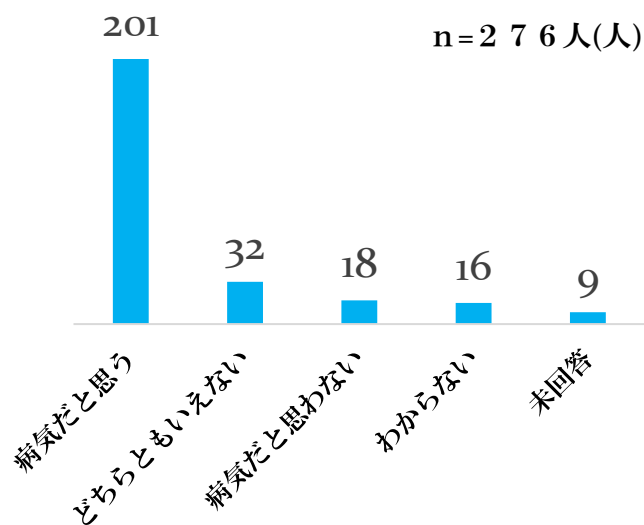


⑩認知症を病気だと思えますか？

「病気だと思う（201人、72.8%）」と回答した方が最も多かった。「どちらともいえない（32人、12%）」、「病気だと思わない（18人、6%）」であった。

平成30年度は、「認知症を病気だと思う（136人、64%）」「病気だと思わない（32人、15%）」、「どちらともいえない（40人、19%）」であった。

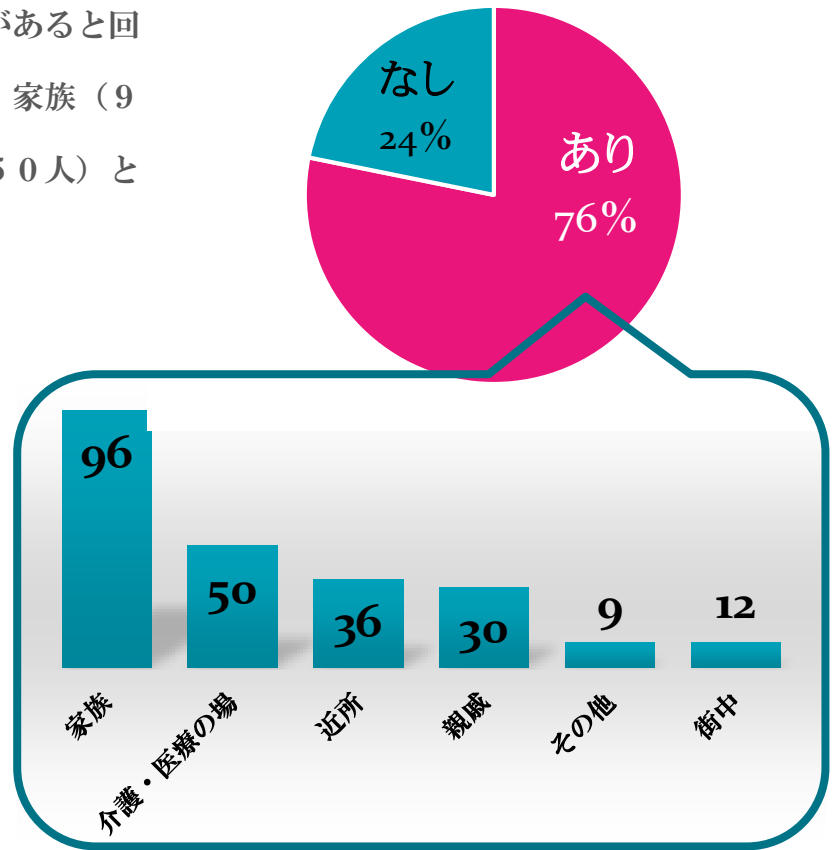
認知症を病気だと思えますか？



⑫今までに認知症の方と接したことがありますか？

76%の方が接したことがあると回答していた。内訳をみると、家族（96人）、医療・介護の場（50人）と回答している人が多かった。

今までに認知症の人と接したことがありますか。
n=276(人)

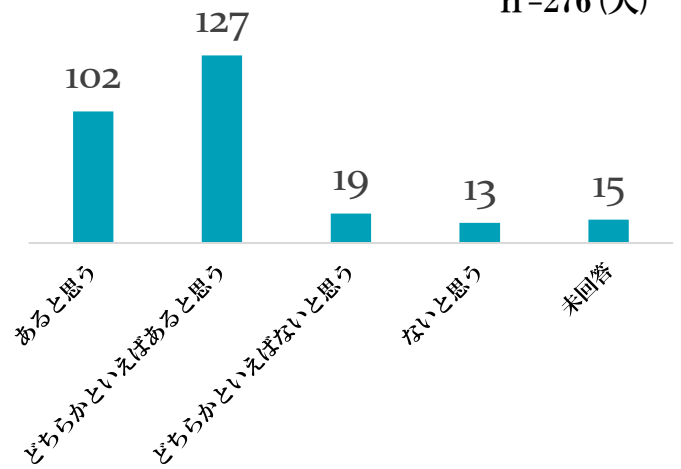


⑬認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると思いますか？

「あると思う（102人、40%）、
「どちらかと言えばあると思う（127人、46%）」と合わせて86%の方が認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると回答していた。

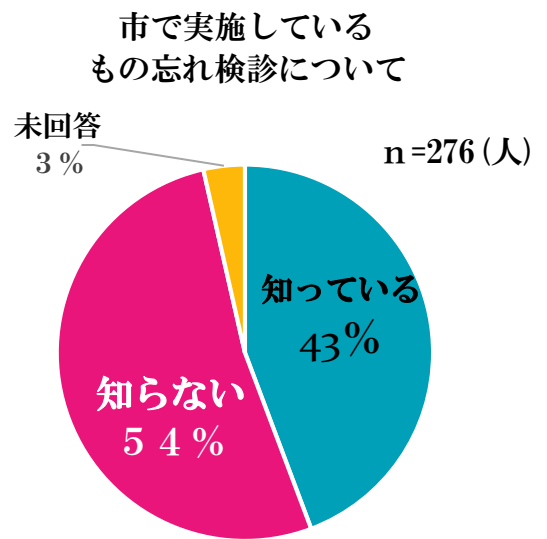
平成30年度は、「あると思う（47人、21%）」「どちらかと言えばあると思う（97人、42%）」合わせて63%であった。

認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると思いますか？
n=276(人)



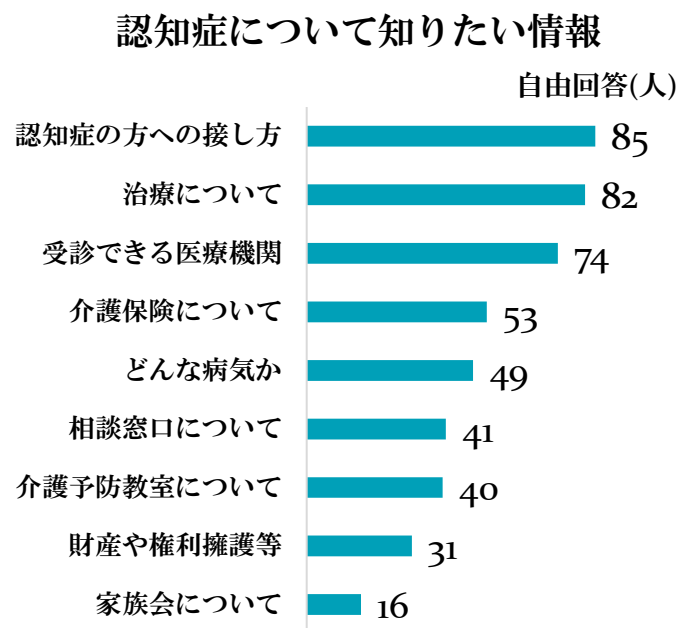
⑭市で実施しているもの忘れ健診を知っていますか。

「知らない（54%）」と回答していた方が「知っている（43%）」と回答した人より多かった。



⑮認知症について知りたい情報はありますか。

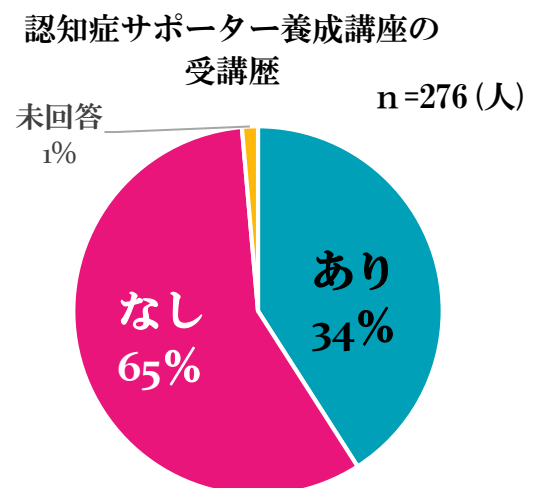
「認知症の方への接し方（85人）」が最も多く、次いで「治療について（82人）」、「受診できる医療機関（74人）」、「介護保険について（53人）」であった。



⑯認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか？

「あり（34%）」、「なし（65%）」でなしと回答した方が多かった。

平成30年度は「あり（34%）」、「なし（49%）」であった。



2) ご意見・ご要望について (全記載)

【認知症フォーラムの運営について】

- ・中休みが長いように思われました。来年は少し詰めたらいいと思います。
- ・中休みが少し長かった。
- ・開演時間を遅くして、中休みを長くするのはどうでしょう。
- ・ブースの所に番号があったらどうでしょうか。
- ・場所が狭く人が多くて、思うようにゆきませんでした。飲みたかったコーヒーも飲めませんでした。
- ・時間おしぎみはご愛嬌！！
- ・スタッフの対応笑顔で良かった

【感想】

- ・周りの家族のやさしさ、接し方が大事なんだと気づかされました。
- ・来年も、今回と同じ内容でいいと思う。
- ・手芸、工芸の作品ブースが良かった。
- ・薬剤師のコーナーは良かった
- ・金多豆蔵楽しかったです。コーヒーがおいしかったです。
- ・とても親切に教えてくれた
- ・来年もやってほしい。
- ・独り暮らしの者にとっては心配がひとつ取り除かれた気がします。
- ・13年前に死亡した主人が認知症でした。今ほど認知症が知られていなかったのも、大変なことが多かった。今のよう知識があればどれだけ良かったかと思った。
- ・プログラムが良く組まれていて、とても良かったです。学びながらも楽しめた。人それぞれに理解し合い、温かく接したいものです。

- ・自分が認知症になることがとても心配です。こういうイベントで色々お話を聞く機会があることはとても安心します。
- ・寸劇は実際に思い当たることばかりでした。今後も続けてほしい。
- ・津川先生のやさしい説明がとってもわかりやすくて良かったと思う。
- ・五農生のような取り組みが必要。立派でした。
- ・介護用品コーナーでは寝返りするのをお願いして、実施してもらった。サラサラ、布地のその場での販売があれば欲しかった。
- ・中休みのブース見学・体験時間が少なく、2ヶ所しかまわれませんでした。少し残念です。来年は他のブースをまわってみたいです。
- ・五農生の発表が大変良かったです。来年も期待しています。
- ・初参加ですが、とても勉強になり、自分を見直すきっかけになりました。
- ・認知症はこれから私たちもなる病気です。いろいろと理解でき、これから先明るいです。
- ・認知症のイベント参加の自由度が高くてありがたいです。
- ・初めて来ましたが、満足しました。
- ・ケアパスの利用について感心しました。
- ・嗅覚識別やノルディックの実演があつて良かったです。
- ・社会福祉士コーナーで事細かく教えてもらい少し安心しました。私は夫も子供もいなく一人暮らしなので。
- ・市外から参加しました。とても良かったです。五所川原市の大きさを感じました。ありがとうございました。
- ・五所川原市は認知症政策の最先端をいっている！！すごい！！
- ・津川先生をはじめ、認知症について頑張ってくださいって本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・認知症フォーラムが今後も継続してほしい。高齢者の健康寿命が長くなり元気な五所川原市に期待しています。
- ・手話通訳がとても良かったです。来年もよろしくお願いします。

【その他要望】

- ・相談できるブースが欲しい。
- ・体操の内容が欲しい。
- ・年はとつても綺麗でいたい。年寄り向けの化粧など勉強したい。
- ・認知症の方が描いた絵を見てみたい。いろいろな作品展示があれば良い。
- ・指の運動を少し取り入れてほしい
- ・寸劇の中で認知症サポーター養成講座をやれば良いと思います
- ・認知症の方への接し方、実践方法が知りたい
- ・認知症初期集中支援事業についての周知
- ・認知症の方との接し方を細かくアドバイスしてくれるコーナーがあれば。
- ・栄養士のコーナーも欲しい。
- ・日本茶のみたいです。
- ・栄養指導や簡単な調理を教えてくれるブースが欲しい。
- ・もの忘れ検診のブースをもっと広げてほしい。
- ・憩いの場づくりの事例発表が欲しい。
- ・視覚障害の体験コーナー（アイマスクで歩行とか）が欲しい。
- ・ハンドマッサージのほかにも、マッサージの仕方など教えてほしい。
- ・ケアマネ会も仲間に入れてください。
- ・免許返納の際に、抵抗された場合の対処方法について聞きたい。
- ・なんでも相談できる窓口、法律的なものも含めた相談コーナー。
- ・認知症の方との具体的な接し方についてもっと勉強したい！

4 考察

- 平成30年度の参加者数は813人、対象者数713人、有効回答数239枚、有効回答率32.1%であった。平成31年度は参加者数146名の減となった。有効回答率は50.5%にした上昇した。その要因として総評における津川先生からの呼びかけが回答率の上昇に効果的であったと考える。
- 認知症の方を支える地域づくりを推進していく視点から、高齢者を支える側の世代の参加を増やしていきたいが、その世代の参加は少ない状況であった。全世代が認知症について知ることができる場として行くために、引き続き支える側の世代の参加増加を目指し周知を図っていきたいと考える。
- 来場者の満足度は毎年度高いが、「大変良かった、良かった」の率で昨年度73%よりも今年度はさらに高い83%となった。イベント内容の充実やスタッフの対応の良さで満足度が高いことから、それらが影響していると考えられる。
- 認知症に対する正しい理解という点に関しては、認知症を「病気だと思う」と答えた割合が、平成30年度の64%から、平成31年は72.8%まで高くなっており、この間の認知症の正しい理解についての取り組みが功を奏している可能性がある。
- 「認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると思いますか？」という設問に対し、86%の方が認知症の人が偏見を持って見られる傾向にあると回答。昨年度の63%に比べ大きく増えた。この「偏見」についての解釈については、設問した意図としては、「認知症だから関わらないでいよう」等マイナスイメージを持つかどうかであったため、そのように質問項目を変更したいと考える。
- 市で実施しているもの忘れ検診について、「知らない」と回答した方が54%であり、昨年度の56%より減っている。若干の改善であるが、引き続きもの忘れ検診の周知を図っていく必要があると考える。
- 認知症について知りたい情報については、上位3つの「治療について」「認知症の方への接し方について」「受診できる医療機関について」は変わらずであったが、「認知症の方への接し方について」の割合が上昇しており、興味・関心が高いことが分かった。来年度の認知症フォーラムにおいて、この内容を踏まえて検討していきたい。
- 認知症サポーター養成講座を受けたことが「なし(65%)」と回答しており、昨年度の49%より増えている。受講したことのない人の参加が多

かったと思われるため、フォーラムに参加することで認知症サポーター養成講座を受けようと思ってもらえるような周知を図っていく必要があると考える。

- 「運営」については、中休みが「長い」という意見もあれば「短い」という意見もある。「長い」という意見は、認知症フォーラムが開演される前にブースを見終わってしまった方やそのままホールに残っている方であり、「短い」という意見は、中休みにブースをまわっている方たちであると考え。総じて、満足度が高いことからおおまかな時間設定は今年度のものを参考にし、来年度の認知症フォーラムでは、ブースの設置方法やスペース、中休みにホールに残っている方たちが飽きない様な取り組みを検討していきたい。

5 今後の課題

1. 認知症フォーラムの開催時期について検討する
2. 本事業の目的の明確化とターゲットの選定について再検討する。
3. 認知症サポーター養成講座の周知方法について再検討する。
4. ブースおよび中休みの時間について再検討する。